



Batch Monitor ユーザーズマニュアル

「Batch Monitor」を使うと、「Compressor」または「Apple Qmaster」で処理したバッチやジョブの状況を確認または調整できます。また、「Batch Monitor」では、最近処理を終えたバッチやジョブの詳しい履歴を表示できます。

「Batch Monitor」を使って、バッチとジョブのトランスコードの進捗をモニタできます。実行したすべてのジョブは、トランスコードが完了した時点までさかのぼって停止、再開、または削除できます。

「プリント設定ユーティリティ」を使えばプリントで実行中のプリントジョブを表示できるのと同様に、「Batch Monitor」を使えば、実行されているバッチの状況を表示できます。たとえば、「Batch Monitor」には、各バッチの名前、送信者の情報、完了度と進行状況、および完了までの推定時間が表示されます。まだ実行していないバッチは保留中として表示されます。

このマニュアルの内容は以下のとおりです：

- 「Batch Monitor」について (2 ページ)
- 実行したバッチの状況を表示する／変更する (3 ページ)
- 「Batch Monitor」のコントロールおよびディスプレイ (4 ページ)
- 「Batch Monitor」と分散処理 (7 ページ)
- Batch Monitor 環境設定を設定する (9 ページ)

「Batch Monitor」について

「Batch Monitor」には以下の項目が含まれます：



- ・「停止」ボタン：選択したバッチまたはジョブを停止します。トランスコードを再開するには、バッチまたはジョブを選択してから「再開」ボタンを押します。
 - ・「再開」ボタン：停止されていたバッチまたはジョブのトランスコードを再開します。
 - ・「削除」ボタン：選択されているバッチを状況テーブルから取り除きます。
 - ・「情報」ボタン：トランスコード中のバッチやジョブ、または履歴テーブルにリストされる完了済みのバッチやジョブについて、詳しい情報を表示する「状況の情報」ウインドウを開きます。
 - ・「アップデート」ボタン：「Batch Monitor」に表示される情報をアップデートします。
 - ・状況テーブル：トランスコード中のバッチおよびジョブの詳細をリストします。「Batch Monitor 環境設定」で、表示する見出しを選択できます。また、見出しをドラッグして順番を入れ替えることができます。見出しの選択と各見出しで表示される情報の詳細については、9ページの「Batch Monitor 環境設定を設定する」を参照してください。
 - ・履歴テーブル：過去 24 時間に処理されたバッチおよびジョブについて、トランスコードが完了したもの、または何らかのエラーや処理の中止が生じたものをリストします。履歴テーブルには以下の見出しがあります：
 - ・バッチ名：実行時のバッチの名前です。
 - ・実行時間：バッチが実行された日付と時間です。
 - ・送信者：実行したユーザの名前です。
 - ・優先順位：バッチ内の各ジョブの優先順位です（デフォルトは「高」です）。
 - ・状況：トランスコードされたバッチまたはジョブの状況です。状況には、「成功」、「キャンセル」、または「失敗」（どのような失敗かを説明するエラーメッセージ付き）があります。
- 状況テーブルとは異なり、「状況」の見出しは Batch Monitor 環境設定では設定できません。ただし、見出しをドラッグして順番や列の幅を変えることはできます。

実行したバッチの状況を表示する／変更する

「Batch Monitor」を開いて、実行したバッチの状況と、バッチに含まれるジョブの状況を表示できます。「Batch Monitor」は独立したアプリケーションなので、「Batch Monitor」ウインドウは、「Compressor」または「Apple Qmaster」が開いているかどうか、あるいはバッチが実行されているかどうかとは無関係に開くことができます。

デフォルトでは、「Batch Monitor」は、「Compressor」または「Apple Qmaster」を使ってバッチを実行すると自動的に開きます。

バッチの状況を表示するには：

- 1 「Batch Monitor」を手動で起動するには、「ユーティリティ」フォルダ内の「Batch Monitor」アイコンをダブルクリックするか、「Apple Qmaster」ウインドウの「Batch Monitor」ボタンをクリックします。「Batch Monitor」が開きます。バッチを実行した直後であれば、処理中の状況が表示されます。直前に実行したバッチがなければ、テーブルは空です。
- 2 バッチの処理に関する情報を確認して、必要な操作を行います：
 - ・ 各ジョブの詳しい情報を見るには、バッチ名の隣の開閉用三角ボタンをクリックします。
 - ・ ジョブまたはバッチを一時停止するには、いずれかを選択して「停止」ボタンをクリックします。
 - ・ 再開するには、「再開」ボタンをクリックします。
 - ・ ジョブまたはバッチを削除するには、いずれかを選択して「削除」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Batch Monitor' application window. At the top, there are four buttons: 停止 (Stop), 再開 (Restart), 制除 (Delete), and 情報 (Information). On the right side, there is an 'アップデート' (Update) button. Below these are two tables:

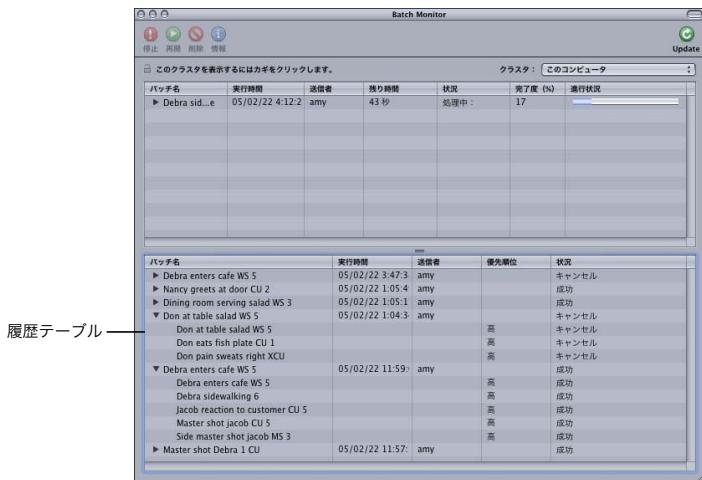
状況テーブル					
バッチ名	実行時間	送信者	残り時間	状況	完了度 (%)
▼ Debra ente...r	05/02/22 11:59:	amy	45 分	処理中:	27
Side ma...s				待機中	0
Master ...s				不明	
Jacob r...e				不明	
Debra ...l				待機中	0
Debra ...e			10 分	処理中:	37
			0	成功	100

履歴テーブル				
バッチ名	実行時間	送信者	優先順位	状況
▼ Master sho...t	05/02/22 11:57:	amy		成功
Master ...s			高	成功

完了度のレポートが 100 パーセントに達すると、メディアファイルのトランスコードは問題なく完了し、指定したフォルダに保存されます。実行したバッチは状況テーブルの下の履歴テーブルに移動します。

- 3 履歴テーブルでバッチ名の隣の開閉用三角ボタンをクリックすると、バッチ内のジョブが問題なくトランスクードされたかどうかを確認できます。

「状況」の列に「成功」と表示されていれば、バッチは問題なくトランスクードされています。そうでない場合は、「状況」の列にエラーメッセージが表示され、問題があったことを知らせます。



- 4 出力先フォルダを開いて、新たにトランスクードされた出力メディアファイルを表示します。

「Batch Monitor」のコントロールおよびディスプレイ

「Batch Monitor」には以下のコントロールとディスプレイがあります。

Batch Monitor テーブル

Batch Monitor テーブルには以下の項目から好きなものを表示させることができます。デフォルトでは、すべての項目が表示されるわけではありません。(表示する項目は「Batch Monitor 環境設定」で選択します。)

- ▶ **ヒント** : 列の見出しをドラッグすると、テーブル内での順番を入れ替えることができます。

- ・ バッチ名 : 実行時のバッチの名前です。
- ・ 実行時間 : バッチが実行された日付と時間です。
- ・ 送信者 : バッチのオナー（バッチを実行したユーザ）の名前です。
- ・ ジョブ : バッチ内の各ジョブのタイトルです。
- ・ ターゲット : 実行するバッチにターゲット（たとえば、出力フォーマット）を指定すると、ここに表示されます
- ・ 「セグメント」: 分散処理のためにジョブをセグメントに分割した場合、セグメントがここにリストされます。

- ジョブタイプ：バッチの実行元になるアプリケーションの名前（「Compressor」、「Apple Qmaster」など）です。
- 優先順位：個々のジョブではなく、バッチ全体の優先順位です。（デフォルトは「高」です。）優先順位が「高」のバッチは、「中」のバッチよりも先に処理されます。
- 経過時間：バッチまたはジョブのトランスクードが始まってからの経過時間です。バッチの経過時間は常に全体の経過時間です。ジョブの経過時間は、バッチと同じか、それよりも短くなります。
- 残り時間：バッチの処理にかかる残り時間の推定値です。
- 状況：バッチの状況です（たとえば、「待機中」や「処理中」）。
- %：完了した処理の量を示すパーセント値です。
- 進行状況：進行状況メーターで表した処理の完了度です。

履歴テーブル

このテーブルには以下が表示されます：

- バッチ名：実行時のバッチの名前です。
- 送信者：バッチのオーナー（バッチを実行したユーザ）の名前です。
- 優先順位：バッチの優先順位レベル
- 状況：バッチの状況です（たとえば、「キャンセル」）。

参考：状況テーブルと履歴テーブルのいずれかで開閉用三角ボタンをクリックすると、各ジョブについての詳細およびジョブの要素を表示できます。

分散処理機能

- 「クラスタ」ポップアップメニュー モニタしたいクラスタを選択します。（Apple Qmaster ネットワークにあるクラスタが1つだけの場合、クラスタを選択する必要はありません。）
- ロックボタン：クリックして、バッチの状況を表示するためのクラスタパスワードを入力します。「Batch Monitor」を「Apple Qadministrator」から開いた場合は、ここに自分のクラスタ管理者パスワードを入力してクラスタ内の全バッチを表示します。クラスタ管理者パスワードがない場合は、クラスタ・ユーザ・パスワードを入力してクラスタ内の自分のバッチを表示します。

分散処理ネットワークで「Batch Monitor」を使う方法の詳細については、7ページの「「Batch Monitor」と分散処理」を参照してください。

実行したバッチの状況の詳しい情報を表示する

「状況の情報」 ウィンドウを開くと、実行したバッチの詳しいトランスコード結果を確認できます。

実行したバッチの状況の詳しい情報を表示するには：

- 状況テーブルまたは履歴テーブルで、バッチまたはバッチ内のジョブを選択し、「情報」 ボタンをクリックします。

「状況の情報」 ウィンドウに、選択したバッチまたはジョブに関する以下の情報が表示されます：



- バッチ名：ポールド体で表示されます。
- 実行時間：バッチを実行した日付と時間です。
- 送信者：実行したユーザの名前です。
- 経過時間：バッチまたはジョブのトランスコードが始まってからの経過時間です。バッチの経過時間は常に全体の経過時間です。ジョブの経過時間は、バッチと同じか、それより短くなります。
- 完了度 (%): 処理の進んでいる割合が、1 ~ 100 の数値による完了度でダイナミックにパーセント表示されます。
- 状況：トランスコードしたバッチまたはジョブの状況です。状況には、「成功」、「キャンセル」、または「失敗」（どのような失敗かを説明するエラーメッセージ付き）があります。

「Batch Monitor」と分散処理

Apple Qmaster 分散処理システムを構築して Compressor ジョブまたは Apple Qmaster ジョブを処理する場合には、「Batch Monitor」の追加機能を利用できます。たとえば、管理者およびクライアントユーザが、実行したジョブの処理を「Batch Monitor」でモニタできます。管理者は、バッチを処理しているクラスタの管理者パスワードがあれば任意のバッチを停止またはキャンセルでき、ユーザは自分のバッチを停止またはキャンセルできます。

「Batch Monitor」とパスワード

ユーザがどのように「Batch Monitor」を使用できるかを決める何種類かのパスワードがあります。詳細については「分散処理設定ガイド」を参照してください。

管理者パスワード

このパスワードを作成すると、管理者がクラスタを修正したり、「Batch Monitor」内の選択したクラスタのバッチを表示するのに、このパスワードが必要になります。管理者パスワードを作成するには、「Apple Qadministrator」の「セキュリティ」タブをクリックします。

ユーザパスワード

このパスワードを作成すると、ユーザがバッチを実行したり、「Batch Monitor」内の選択したクラスタのバッチを表示するのに、このパスワードが必要になります。ユーザパスワードを作成するには、「Apple Qadministrator」の「セキュリティ」タブをクリックします。

サービスノードパスワード

QuickCluster を構築する場合、他のユーザがコンピュータにリモートリクエストを送るためにこのパスワードが必要になります。

「Apple Qadministrator」で使用するクラスタを構築する場合、管理者がクラスタにコンピュータを追加するためにこのパスワードが必要になります。サービスノードパスワードを作成するには、「システム環境設定」の「Apple Qmaster」パネルで「パスワードを要求」チェックボックスをクリックします。

分散処理のためのバッチの状況を表示する／変更する

バッチの状況を表示／変更するには：

- 1 以下のいずれかの方法で「Batch Monitor」を開きます：

- ・ バッチの状況を表示または変更したい管理者：「Apple Qadministrator」が開いたら、「クラスタ」>「Batch Monitor」と選択します。
- ・ バッチの状況を表示して、自分のバッチの状況を修正したいユーザ：バッチを実行すると開く「Batch Monitor」を使用するか、「ユーティリティ」フォルダの「Batch Monitor」アイコンをダブルクリックします。

- 2 「クラスタ」ポップアップメニューからクラスタを選択します。

クラスタにバッチが表示されず、ロックボタンの鍵アイコンが閉じている場合、表示されるダイアログにクラスタ管理者パスワードまたはクラスタユーザパスワードを入力します。(パスワードは、「Apple Qadministrator」またはシステム環境設定の「Apple Qmaster」パネルで作成します。詳細については、「分散処理設定ガイド」を参照してください。)

- 3 バッチの処理に関する情報を確認して、必要な操作を行います：

参考：デフォルトでは、すべての列が表示されるわけではありません。(表示させたい項目はBatch Monitor 環境設定で選択します。)

- ・ ジョブまたはバッチを一時停止、または削除するには、目的の項目を選択して「停止」ボタンまたは「削除」ボタンをクリックします。ジョブまたはバッチを再開するには、目的の項目を選択して「再開」ボタンをクリックします。
- ・ 各ジョブについての情報を見るにはバッチ名の隣の開閉用三角ボタンをクリックします。ジョブを分割してできたセグメントを見るにはジョブ名の隣の開閉用三角ボタンをクリックします。
- ・ 履歴テーブルでバッチ名の隣の開閉用三角ボタンをクリックすると、バッチ内の各ジョブが問題なくトランスコードされたかどうかを確認できます。

履歴テーブル内のバッチまたはジョブの「状況」の列に「成功」と表示されていれば、そのバッチまたはジョブは問題なくトランスコードされています。トランスコードに問題が生じた場合、エラーを説明したテキストが表示されます。



参考：クライアントユーザは、他のユーザのバッチを変更できません。他のユーザが実行したバッチやジョブを選択すると、「停止」ボタン、「再開」ボタン、および「削除」ボタンが使用できなくなります。

詳細については、次の「Batch Monitor 環境設定を設定する」、および4ページの「「Batch Monitor」のコントロールおよびディスプレイ」を参照してください。

Batch Monitor 環境設定を設定する

「Batch Monitor」に表示される情報のほとんどは、「Batch Monitor 環境設定」ウインドウを使って表示と非表示を切り替えることができます。

Batch Monitor 環境設定を設定するには：

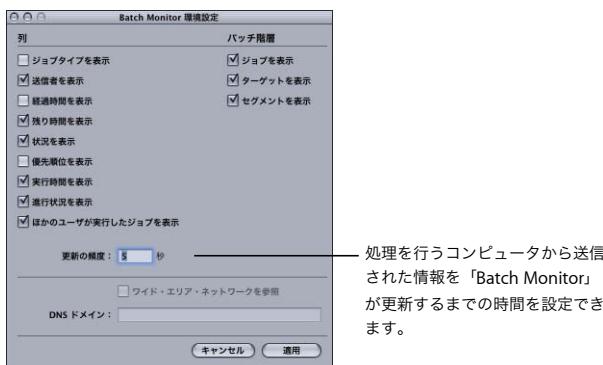
- 1 以下のいずれかの操作を行います：

- 「Batch Monitor」>「環境設定」と選択します。
- コマンドキーを押しながら、カンマ (,) キーを押します。

「Batch Monitor 環境設定」が開きます。

- 2 「Batch Monitor」の状況テーブルに表示させたい見出し項目のチェックボックスを選択します。

- ほかのユーザが実行したジョブを表示：他のユーザが実行した処理中のバッチをリストするには、このチェックボックスを選択します。2種類の状況が想定できます。1人のユーザがバッチを実行して2人のユーザがコンピュータにログインした場合と「Compressor」または「Apple Qmaster」で分散処理を行う場合です。
- 更新の頻度：このフィールドでは、「Batch Monitor」ウインドウが状況の情報を更新するまでの秒数を設定できます。



3 「バッチ階層」という見出しの下にある項目のチェックボックスを選択して、実行した各バッチについて表示の詳細レベルを設定します。

- ジョブを表示：バッチに含まれるすべてのジョブ(設定を割り当てた Compressor ソースメディアファイルまたは Apple Qmaster ジョブ) をリストします。
- ターゲットを表示：バッチに含まれるすべてのターゲット（出力先）をリストします。
- セグメントを表示：セグメントのサイズをリストします。

4 「適用」をクリックして変更を保存します。

参考：「Apple Qadministrator クラスタ環境設定」の「状況の間隔」は、「Batch Monitor 環境設定」の「更新の頻度」より優先されます。「Batch Monitor」は、「Apple Qadministrator クラスタ環境設定」ダイアログの「状況の間隔」設定に従って、クラスタコントローラから受信したときにだけ新しい状況の情報を表示できます。詳細については、「分散処理設定ガイド」の「クラスタ環境設定を設定する」を参照してください。